

ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第17号 平成23年6月2日

ジロー自身初のマルチでチームに貢献！！

達協力投で今期7勝目！！

	1	2	3	4	5	6	7	R
G	3	3	0	1	0	1		8
W	0	0	0	0	0	0		0



6/2（土）今日2試合目となるゲームを、清水丘に移動し、ワイルドピッチとのKSC公式戦を行った。久々の我がチーム先攻でプレイボールとなった。先頭は智、叩いた打球は彼の足を生かし、内野安打で出塁、その後二盗を決め、早くもスコアリングポジションにランナーを進めた。ここから、二連続四球を打者が選択し、且つその間にWPで労せず先制点を挙げた。その後もWP・失策・安打を絡め3点を挙げた。続く2回の攻撃は、相手投手の乱丁に1安打を加え、これまた3点を挙げ、今日のゲームを早くも手中にした。4回には、祐太郎が二死から安打で出塁したが、続く打者の遊ゴロの間に走者が入れ替わり、ここで、ジローが打席に入る。一打席目に左前に安打を放っているだけに、彼の打席にベンチの注目が集まる。この期待に5球目をまたもや逆方向に放ちこれが三塁打となり、1点を挙げ中押しに成功。更に、最終回となった6回には、四球を選択した走者が2盗を決め、更に進塁打で、場面は二死三塁、ここまで3打席凡退しているのぶが、力の抜けたバッティングで右前に運び、ダメ押し点を追加し勝利した。この勝利の影では無く、マウンドで躍動したのが達協だった。今日の彼は非常に力強い投球で、3回に3塁まで走者を進めたが、それ以外は、三塁踏まさなかった。内容は、要所で三振奪取、また、そうでない場面では、打たせて取る内容で6回を95球の完投で、早くも今期7勝目を挙げた。この時期での7勝は、チーム新記録の勢いである。但し、自身の悪い癖でもある四球は、上位チームとの対戦では、命取りに成りかねないので、この辺はまだ開発途上と言っても過言では無いだろう。被安打の数が2つという事を考えると、2四球は4安打＝1点なので、如何に与えない制球が出来るかが、彼の最大の課題であろう。今期4敗しているが、その対戦相手投手の四球数は、平均0.75である事からも納得して頂けるであろう。彼なら出来る、この数字は！それにしても、怪我からの復活は、彼の野球に掛ける気持ち・情熱の証、現在チームに故障をしてしまったメンバーがいるが、これからの地道なりハビリがこれからの野球人生に繋がります。また、そうでないメンバーも決して自身の体のケアを忘れる事無く、一度しか無い人生の中で、縁があって巡り合ったメンバーと楽しみである、野球が継続して出来る様、体調管理を祈願します。